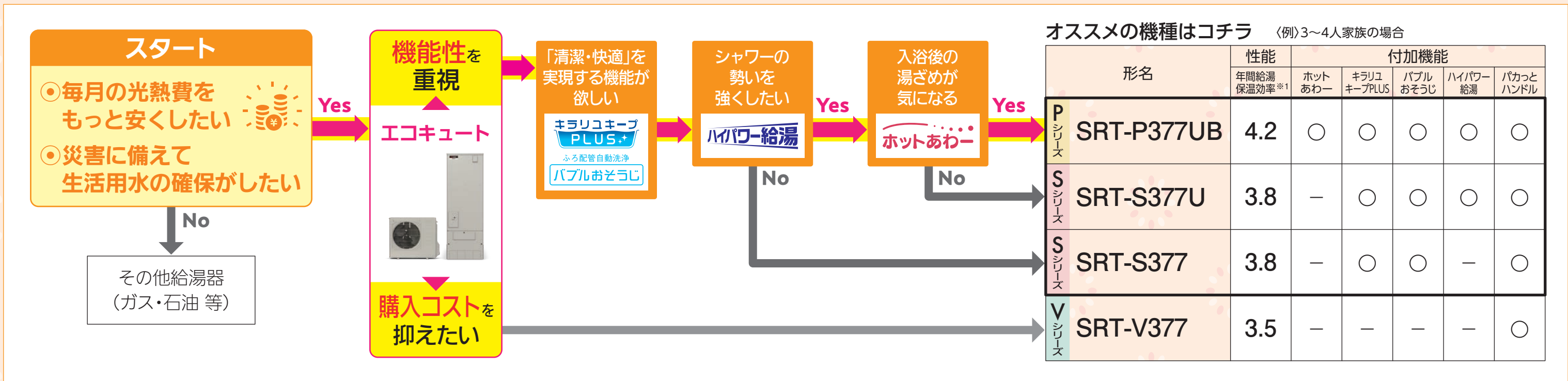
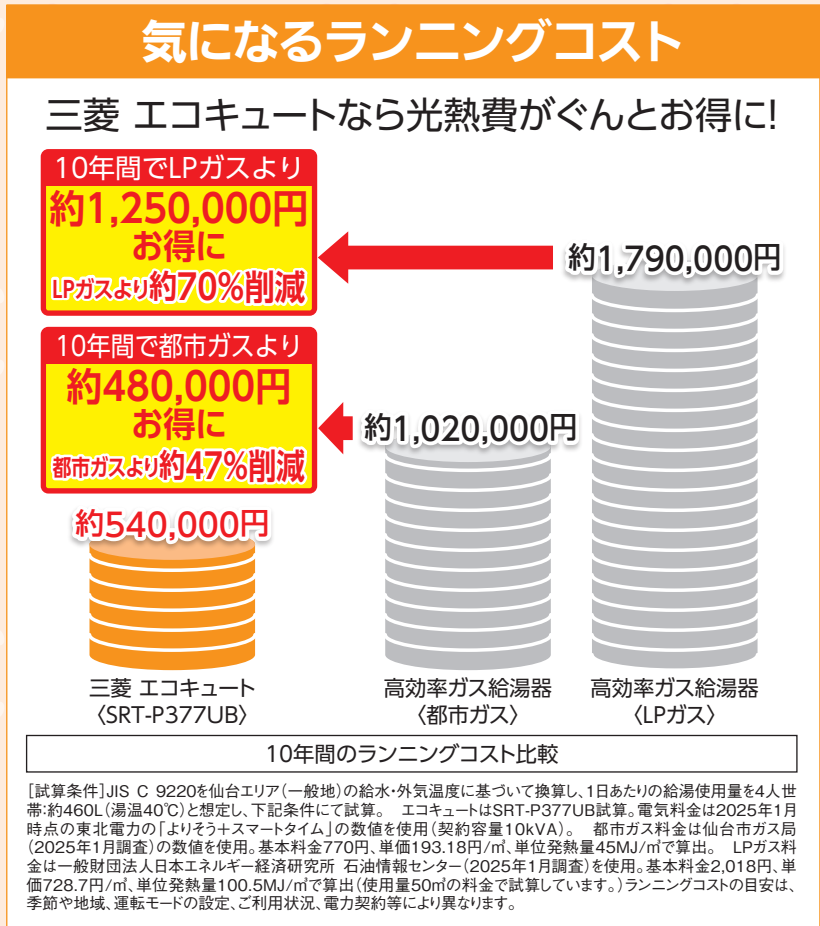




三菱 エコキュートは機能も充実

ワンランク上の快適さ
ホットあわー^{※4}

入浴中にボタンを押すだけ。より微細な約0.01mm^{※5}のマイクロバブルに包まれ、ここちいい温もりのひとときへ。

湯冷めがしにくい[ホットあわー]^{※4}

《試験結果：湯あがり10分後の皮膚表面温度》

通常入浴

ホットあわー入浴

【試験条件】入浴者20代～50代の成人12名に通常入浴とホットあわー入浴にて10分間入浴し、湯あがり10分後の皮膚表面温度をサーモビューアで測定。（湯温39℃ 室温25℃ 浴槽湯量180L）

ホットあわー入浴の場合は、通常入浴に比べ入浴後の皮膚表面温度が高く、湯冷めしにくいことがわかりました。（当社調べ）

※使用環境や条件により、効果は異なります。また、個人差があり、効果を保証するものではありません。

深紫外線でお風呂のお湯がきれい
キラリユキープPLUS

ふろ配管を通るお湯に深紫外線を照射し除菌^{*}します。

※湯量180L、湯温40℃でキラリユ入浴を実施し2時間後の効果、キラリユ洗濯はキラリユ洗濯終了時刻の2時間前より作動させた効果です。※6※7 実使用での試験結果ではありません。使用環境等により効果は異なります。すべての菌に効果があるわけではありません。他の機能が動いている時は深紫外線の照射を止めることがあります。キラリユキープPLUS機能停止後は菌が増殖します。

きれいにしてから入浴したい 次の人入浴に
入浴前に、ボタン操作でお風呂のお湯を除菌^{*}

（イメージ図）

前の人入浴後 → 台所リモコン「キラリユ入浴」ボタンを押す → きれいなお湯に入浴

※浴室リモコンのスマート機能からも操作可能
キラリユ入浴終了後もキラリユキープ設定時刻中は、菌の増殖を抑制する運転を継続
※湯は1中、注水機能の動作中、循環洗浄中、エア抜き運転中は連続照射ははたらきません。

ふろ配管自動洗浄
バブルおそうじ

入浴後、浴槽の栓を抜くだけで配管を自動的におそうじします。^{※8 ※9 ※10}

浴槽排水時 水位低下を検知して自動スタート^{※8}

お風呂の配管を洗浄

微小な汚れを強力に吸着するマイクロバブル〈約0.1mm〉の性質を活かし、洗浄剤を使わずにふろ配管自動洗浄を実現します。

バブルおそうじの原理

汚れ（皮脂など）
マイクロバブル
配管内のマイクロバブルが
皮脂などの汚れを吸着
汚れを離脱

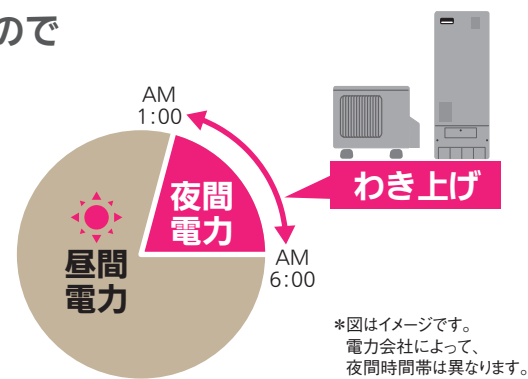
※イラストはイメージです。

ランニングコストが安い、そのわけは？

1 ヒートポンプのしくみを利用してお湯を沸かすので
高効率=省エネ運転を実現。

2 昼間より**割安な夜間電力**を主に利用して
わき上げを実施。

さらに
3 太陽光発電システムと連携で
太陽光発電の余剰電力でお湯を作ることも！



高効率な「ヒートポンプ技術」と「割安な夜間電力」を活用して、
ガスや石油ボイラー等の他熱源に比べて光熱費の削減が可能です。

家族の人数でタンク容量を選ぶ

使用湯量の目安とタンク容量

家族人数	お湯の使用量の目安(40℃換算・冬期)					対応する タンク容量	
	浴槽湯はり	+	シャワー	+	洗面・台所		合計
5～7人	1回(180L)	+	7回(560L)	+	洗面・台所(245L)	985L	550L
4～5人	1回(180L)	+	5回(400L)	+	洗面・台所(175L)	755L	460L
3～4人	1回(180L)	+	4回(320L)	+	洗面・台所(140L)	640L	370L

試算条件：給水温度9℃・シャワー温度及び浴槽湯はり温度40℃◎浴槽湯はり量180L◎シャワー湯量[1階給湯時]80L/人 程度使用。
*上記の使用湯量目安は、浴槽の大きさ、シャワーの使い方などによって変わります。

少人数から大家族まで、人数に合わせてタンク容量をお選びいただけます。
「湯切れ」が心配な方は、大きめの容量がおすすめです。

もしもの備えも万全

貯湯 タンク

非常時には、たっぷりの
生活用水として使えます。

非常用 取水栓

パカッとハンドルで誰でも
カンタンに取水できます。

日時 バックアップ

停電後に、めんどうな
再設定も必要ありません。

停電時 出湯

停電時だって
お湯が使えるうれしさ！

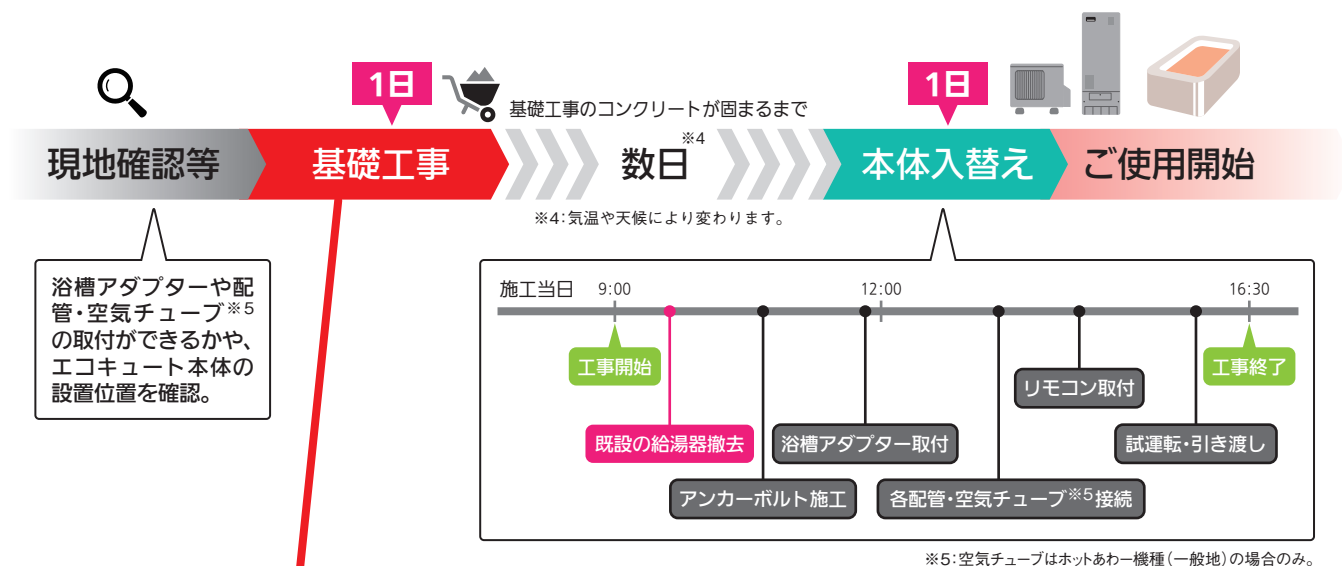
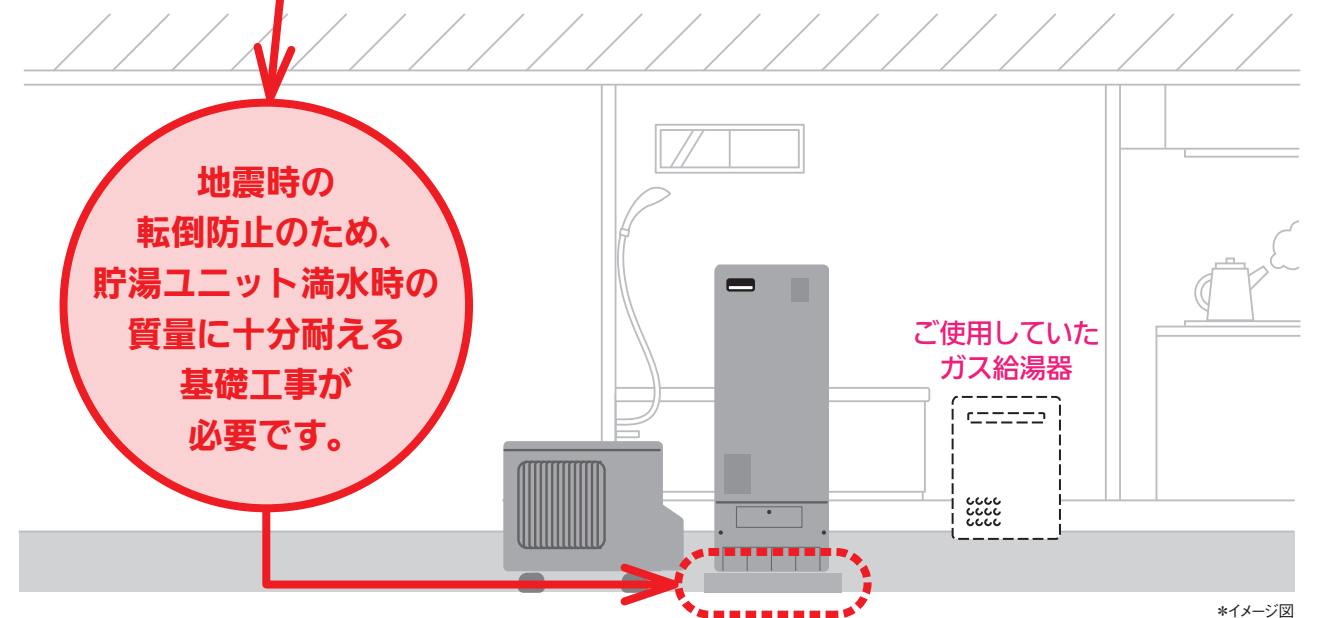
耐震クラス S

耐震性能も安心の「耐震クラスS対応」^{※1 ※2}。
脚部に幅広の「タフレッグ」を採用^{※3}。

※1：角型地階および1階ならびに敷地の部分に設置において、また、取付方法及びタンク容量によって対応できる耐震クラスが異なります。370Lタイプは地上階(1階)でのアンカーボルト3本固定で耐震クラスS(KH=1.0)を満足します。460Lタイプは地上階で脚固定金具を併用した固定で耐震クラスS(KH=1.0)を満足します。KHとは設計用水平震度を示します。詳細は、仕様書または据付工事説明書をご確認ください。
※2：(一財)日本建築センター「建築設備耐震設計・施工指針」における局部震度法による設備機器の地震力に基づいて設計。 ※3：角型370Lタイプ以上において。

ガス給湯器からエコキュートへの入れ替え例

■入れ替え工事イメージ



- 機器の性能や保守点検のため「設置制約」のスペースを確保してください。
- 配管による放熱ロスを少なくするため、給湯場所に近い所へ据え付けてください。

注) 寝室の近くやご近所の迷惑になる場所^{※6}には据え付けしないでください。

※6：ヒートポンプ給湯機は、主に人が睡眠している深夜に運転するため、運転音による不眠等が一部報告されています。
寝室や隣家に近い場所など騒音が気になる場所には据え付けしないでください。

騒音等防止を考えた
据付けに関して

『騒音等防止を考えた家庭用ヒートポンプ給湯機の据付けガイドブック』を
下記URLよりダウンロードできますのでご参照ください。
(一般社団法人 日本冷凍空調工業会のホームページ)
http://www.jraia.or.jp/product/heatpump/t_guide.html



ガス給湯器から電気機器へ変更をする際(ガス給湯器から電気温水器やエコキュートへの取替など)は、事前にガス事業者への連絡が必要になります。
ガス事業者への連絡をせずに無断撤去することは法令により規制されていますのでご注意ください。